

# 新型コロナウイルス

## 尾道市内の感染状況とワクチン接種の状況

### 尾道市民の皆さんへ

#### 1.尾道市における新型コロナの感染状況

尾道市をはじめ全国で猛威を振っていた新型コロナウイルス感染症も9月に入り、下火になりつつありますが、この夏は尾道市でも毎日10人程度の新型コロナ感染者が新たに報告されていました。7月以降では感染者の総数は420人を超えています。新型コロナを風邪だと言う方も少なくありませんが、風邪は万病の元という喩えどおり、風邪で亡くなる方も少なくありません。特にワクチンを接種していない人や生まれて初めて感染する人にとって、新型コロナは依然として命に関わる危険な病気であることに変わりはありません。

感染の場所としては、小児では保育園・幼稚園・こども園、学習塾、スポーツ教室等での感染が報告されています。成人ではデスクワークの屋内オフィスだけでなく、塗装や溶接などの屋外作業場における感染も報告されています。また、車による旅行・移動に際して、同乗していた人たちが感染するという事例も報告されています。さらに、社員寮や学生寮、家庭内での感染も報告されていて、同一建屋で寝食を共にするような場での感染が多くなっています。

その一方、緊急事態宣言の効果により、飲食店や夜の街での感染は大きく減っていて、8月下旬以降、尾道市内では殆ど報告されていません。広島県では9月末まで飲食店等に営業時間の短縮等を求めています。飲食店とは無関係の感染者も多数報告されています。また、県外との往来とは無関係に感染する人が多数を占めており、広島県内・尾道市内に留まっている人の感染も多数報告されています。

#### 2.最近の新型コロナウイルス(δ株)の特徴

新型コロナウイルスは日々、進化し、この春までは有効であった感染防止対策も今では不十分なものとなっています。8月以降、尾道市で流行している新型コロナウイルスは7月以前とは異なり、δ(デルタ)株と言われる『新しい』新型コロナウイルスです。

δ株の特徴としては、(1)僅かな接触でも感染することがあり、いわゆる「濃厚接触者」とはならない人でも感染することが少なくないこと、(2)感染から発症までの期間(潜伏期)が1日~10日と幅が広く、5日後に検査を受けて陰性であった人でも、その後に発症する可能性があること、(3)感染者が発熱等の症状を示す直前が最も感染力が高いため、発症した時には既に家族も感染していることが多いことが挙げられます。また、(4)若年者でも感染すれば、38℃以上の高熱が続くこと、(5)ワクチン2回接種済みの人でも感染することなども挙げられます。

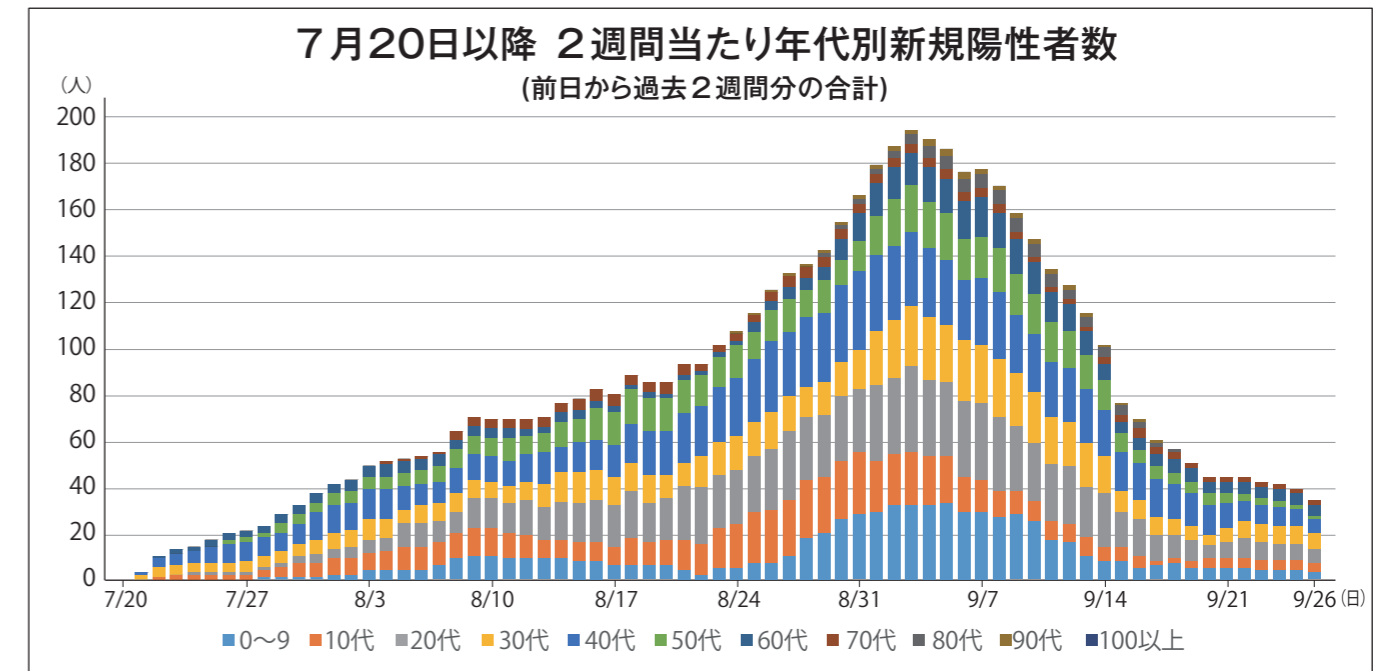
#### 3.新型コロナから身を守るために

マスクの着用や手洗い・手指消毒の実施という基本的な感染防止対策は、新型コロナに感染することを防ぐために今でも有効です。しかし、その効果には限界があります。

また、ワクチンの効果は以前よりも弱まっていますが、それでも重症化を防止する効果は十分に期待できます。全国では、高齢者のワクチン接種が進んでいるため、死亡例は非常に少なくなっています。60歳未満の人については、まだワクチン接種が進んでいないので、その効果が実感できませんが、これからワクチン接種が進めば、40代・50代での死亡者も減っていくことが期待されます。市民の皆さんには機会があれば、積極的にワクチンを接種して頂くようにお願いします。

広島県東部保健所長 福田光

#### ■尾道市の年代別感染状況 (9月26日時点)



このグラフは2週間当たりの年代別新規陽性者数の推移を表しています。例えば、9月26日のデータでは、前日までの2週間(9月12日~25日)の新規陽性者数の合計になります。

この期間の感染者は、30歳代以下の人が半数以上を占めており、60歳代以上の人は少なくなっています。引き続き、感染防止対策をお願いします。

#### ■ワクチン接種の状況(接種率) (9月29日時点)

|            | 1回目   | 2回目   |
|------------|-------|-------|
| 高齢者(65歳以上) | 89.6% | 88.2% |
| 12歳~64歳    | 54.5% | 36.7% |
| 対象者全体 ※1   | 74.7% | 62.8% |
| 全人口接種率 ※2  | 67.6% | 56.8% |

10月末頃には、  
2回目の接種を終了した人が  
**80%**を超える見込みです。

※1 対象者全体は、接種券を送っている人と医療従事者の人のうち、接種をした人です。  
※2 全人口接種率は、接種券を送っていない満12歳未満の人も含めて計算しています。

ワクチンによる効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、接種の判断をしてください。周りの人に接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないようお願いします。

#### ■ワクチン接種後も感染予防対策を継続しましょう

ワクチンを接種することで、発症や重症化を防ぐ効果があります。しかし、その効果は100%ではなく、ウイルスの変異によりワクチンの効果に影響が生じる可能性もあります。

このため、ワクチンが普及し、感染者数を十分抑えることができるまでは、引き続き効果的な感染予防対策を組み合わせ、可能な限り自分や周りの人を守りましょう。具体的には、「3密(密集・密接・密閉)1つの密でも回避」、「マスクの着用」、「石けんによる手洗い」、「手指消毒用アルコールによる消毒」などをお願いします。

